

「さあ、みんなで考えよう」

第43回いがまち同和教育研究大会(8月18日)開催 テーマ「今あらためて部落問題を学び直す」

本年度のいがまち同和教育研究大会は、「部落差別解消推進法」施行を受けて昨年度に引き続き「今あらためて部落問題を学び直す」をテーマに午前中に記念講演会、午後5講座が開催されました。大会概要は下記の通りです。

午前：開会行事・記念講演会(10:30～)
講演「自由と可能性の財政改革 ～自己責任者会を乗り越えるために～」
井手英策さん(慶応義塾大学経済学部 教授)

午後：講座

○ふるさと会館いが会場(小ホール)

①同和对策事業 ～そのうわさ本当ですか?～

②人権啓発担当者として学んだこと

③「部落差別解消推進法」「障害者差別解消推進法」「ヘイトスピーチ解消推進法」

3つの差別解消推進法がめざすもの

○柘植中学校会場・霊峰中学校会場(2会場とも下記の4講座を同内容で実施)

①地名総監事件・統一応募用紙・就職差別

②水平社宣言・糾弾闘争・部落解放運動

③部落の文化・食肉産業・識字教室

④同和教育・人権教育

各中学校会場は左記の4講座から
2講座を選択受講

第4講座「同和教育・人権教育」では、小中学校で「自分事」として人権学習に取り組み、考え、行動する生の姿や作文がいくつも紹介され、「子どもの学び・つながり」から学びました。今回は第4講座で紹介された作文に加えて、さらにもう1つ、生徒の作文を紹介します。 **文責・橋本浩信**

「今の自分、これからの自分」伊賀市内中学3年 かつての伊賀市人権作品集より

私の中学校では、年数回、講師先生を招き、お話を聴かせていただいたあと、全校生で思いを出し合い、自分自身を見つめ直し、なかまつながり、反差別の生き方をみんなで作って行く。今まで、たくさんのお話を聴き、考えた。そのなかでいちばん心に残っているのは、松村元樹さんの話だ。松村さんは、「気づいたら行動にうつさないと意味がない」と言ってくれた。その時、心がグッときたような気がした。それは、それをしていない、できていない自分がいたからだ。今まで、思っても行動にうつせていない自分があった。学校生活の中でも、「ちょっとおかしいな」と思うことがあっても、注意できずに過ぎてしまう、または、みずごしてしまうことがあった。松村さんのメッセージは、そんな僕が、日常のなかで行動にうつせれば差別がなくなるということだと思った。保育園から10年以上もつぎあっている学年のなかまもたくさんいるのに、自分のほんとうの気持ちを出せず、行動にうつさず、まさにひとの人権を考へることから逃げているの

ではないかと思った。

そんな自分を、もう一度見直し、向き合い、みんなといっしょに行動にうつしたいと思い活動しているのが「部落問題を考える中学生の集い生徒実行委員会」である。私は中学校で人権サークルの会長をしている。中学校のみんなの思いを伝えること、そして、生徒実行委員会に聴いてきた他の伊賀市内の中学校の実行委員や他校の生徒の思いをみんなに伝えることもしっかりやっていきたいという思いを持って、生徒実行委員会に参加した。初めての生徒実行委員会では緊張したが、場の雰囲気や和んできて、実行委員でいろいろはなすことができた。しかし、夏休み中に行われた2回目の生徒実行委員会では、全然しゃべることができなかった。たくさん話す機会があったが、自分の言いたいこと、伝えたいことを話すことができなかった。2回目の生徒実行委員会、「部落出身やねん」のことは続けて、自分の思いを語ってくれた生徒実行委員がいた。その思いを聴いて、僕は一つかえすことができなかった。頭の中では、「一人で悩むことではないし、みんながしっかりとうけてとめてくれる。いっしょに考えていこう」とかえしていた。しかし、言葉に出してかえせなかった。自分は何なんだと思った。

かえせなかったのは、今までの行動にうつせていない自分がことばでかえしても、僕自身、「それでいいの」と思ったし、今までのできていない自分では、言葉だけの返しのような気がしたからだ。でも、松村さんが言っていたように気づいたら行動にうつさないと意味がない。実行委員会ではかえせなかった。でもそこで終わらせられない。絶対にかえしていきたい。中学校にもどって、みんなといっしょに考えたいと思った。夏休みが終わり、「部落問題を考える中学生の集い」の第2回生徒実行委員会でのこと、そこで自分が思ったことを話すために、3年生で学年集会を開いてもらった。

「小学校のときから、部落問題についていろいろ考えてきた。でも、小学校6年段階の自分は、『部落出身だ』ときいたときには、『そんな関係ないやん』というかえしかたをしていただろうと思う。しっかり考えているつもりでも身近なことになっていなかったのだからと思う。でも、今は違う。昨年度の「部落問題を考える中学生のつどい」のスピーチ文などでも考えたこともあるが、今は行動にうつせやなあかと思うし、行動にうつしたいと思っている。でも、そう思っている自分が、実際は、集いの実行委員会「部落出身」という思いをきいて、何もかえせなかった。自分は自分の頭のなかだけかよと思った。自分自身にモヤモヤした。こんな僕だけれど、今僕は、この中学校のみんなと一緒に考えていきたい。そして、ことばだけでなく、この中学校のみんなとともに行動でかえしていきたい。」このようなことを学年集会で話した。うまく伝えられたかどうか分からないが、自分ができていなくてモヤモヤしている今の自分、でも、みんなと行動していきたいという思いを正直に話をした。

僕の話のあとで、2年生のときの昨年度の「部落問題を考える中学生の集い」本番の分散会で、ほかが夏に生徒実行委員会で話をきいた同じ生徒から思いをきいたなかまが学年集会でこの中学校でいっしょに考え、行動しようという思いを僕につづけて語ってくれた。そして、そのあと、学年で4つのグループに分かれて、それぞれの思いを出し合った。僕は、中学校でみんなといっしょに取り組んでいきたい。そして中学校のなかまと行動する自分でありたい。自分の生きているなかで自分の行動でかえしていきたい。自分のために、そして伊賀に住むみんなのために。

9月、10月の講演会や研修会の案内

- 9月1日(土) 上野同和教育研究協議会第33回研究会 (10:30～) 伊賀市文化会館
「教育とマスコミから人権を考える」(笹原秀夫さん)[伊賀市教育長]
- 9月10日(月) 青山文化センター人権・解放講座 (19:30～21:00) 青山文化センター
『子どもが生きる力』を守る(庄保共子さん)[特定非営利活動法人 こどもの里]
- 9月14日(金) いがまち解放講座 (19:30～21:00) いがまち人権センター
「当事者が語る部落問題の今～部落問題を自分事として～」(丸田光昭さん)
- 9月21日(金) 2018部落解放・人権大学講座 (19:30～21:00) ゆめぼりすセンター
「差別をなくす社会システム」(北口末広さん)[近畿大学人権問題研究所]
- 9月25日(火) いがまち人権・同和問題地区別懇談会リガー研修会 (19:30～21:00) いがまち公民館
体験学習会「身近な人権課題に気づくⅡ」(吉原隆行さん)[反差別・人権研究所みえ]
- 10月13日,14日(土・日) 第52回三重県人権・同和教育研究大会 (伊賀市・名張市)
- 10月26日(金) 部落解放・人権大学講座 (19:30～21:00) ゆめぼりすセンター
「もう1度、考えてみませんか? インターネットのこと」(中村尚生さん)[反差別・人権研究所みえ]
- 10月30日(火) 「人権・同和問題地区別懇談会」柘植地域会議 (20:00 柘植地域市民センター)